



## 福島県建築士会福島支部 福島県全域

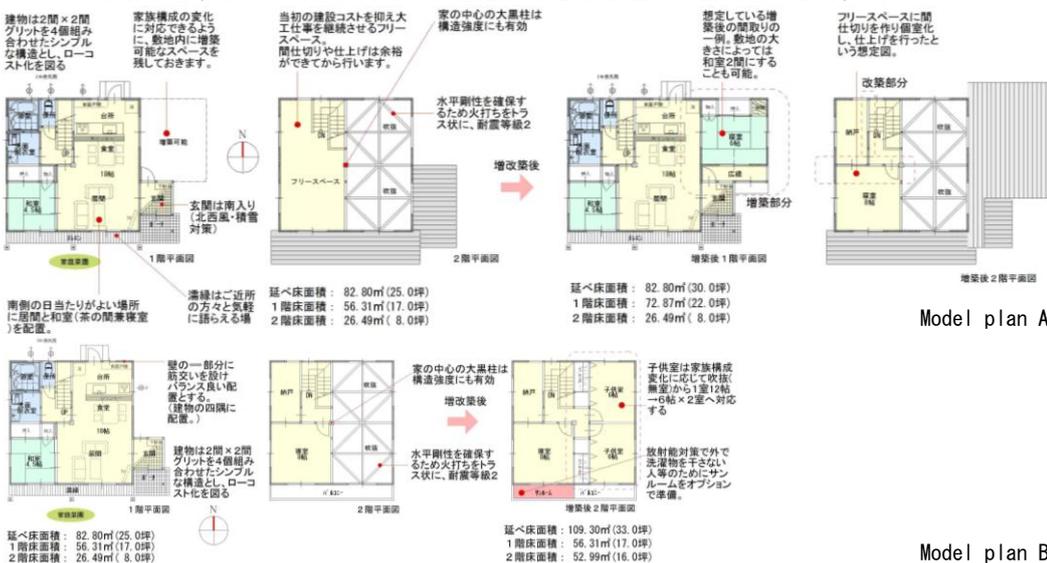
### [グループの特徴とメッセージ]

- (社)福島県建築士会福島支部は会員数 327 名、協賛企業 20 社で構成されています。
- 会員は全て建築士で、主に設計事務所、建設会社・工務店・大工、内装工事会社、設備工事会社、電気工事会社、建材販売会社等で構成されており、住宅建設に必要な企業は一通りそろっています。
- 今回はこれに林業・木材関係事業者、宅建業者、ファイナンシャルプランナー、司法書士、保険会社等を連携会社として復興住宅の供給にあたっていきますので、窓口ひとつでワンストップサービスが可能となる多様な専門家との連携体制が整っています。

### [地域型復興住宅のイメージと特徴]

#### “うつくしま” ふくしまの家”

- 「う」うみ育てのしやすい家：シンプルだが無駄がなく、同じコストでも最大限有効な広さがとれる、また家族構成の変化に伴い増築・改築可能なプランとします。
- 「つ」つながりのある家（地域コミュニティ）：居間・茶の間・濡れ縁や庭・家庭菜園などのセミパブリックなスペースを有効に配置し、家族や地域の人と語り合うつながりのある家とします。
- 「く」くらしやすい家（地域の気候）：地域の気候風土に配慮し、深い庇のデザイン、積雪・凍結・季節風に配慮した家とします（南入りの玄関など）。
- 「し」しぜんを取り入れた家（環境対応）：光・風を十分取り込めるようなつくりとし、中間期には冷暖房が不要となるような家づくりをします。また太陽光発電を将来屋根に載せられるような屋根の形状としておきます。次世代省エネルギー性能表示等級 4 を想定しています。
- 「ま」まちづくりの核になる家（災害に強いまち）：集落がひとまとまりの景観となっていて、建物によって地域の連帯感もてる、そしていざというときは住民同士が協力して防災に取り組めるようなまちづくりを目指します。



Model plan A

Model plan B

グループの基本情報		地域型復興住宅の主な工法・価格帯	
所在地	福島市五老内町 2-10 アスカビル 1 F	主な構造・工法	木造軸組工法
グループ構成	合計 42 社（原木供給／3 社、製材／2 社、建材流通／4 社、プレカット／2 社、設計／8 社、施工／9 社、その他／14 社）	価格帯	1,600~1,800 万円
代表者名	阿部良樹（西信建築設計事務所/福島県建築士会福島支部 支部長）	価格の基準面積	82.8 ㎡
主な受賞歴等	・平成 24 年 ふくしまの家復興住宅供給システムプロポーザル入選	価格に含まれない項目	屋外工事費、外構工事費、諸手続き費
連絡窓口	担当：和田聡史 [メール] satoshi_wada@hotmail.com [電話]024-536-0354 [FAX] 024-536-0358	* 価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。 詳しくはお問い合わせください。	
ホームページ			